

群馬県感染症発生動向調査情報 (官庁連絡会議資料 2022年8月号)

● 新型コロナウイルス感染症 (2022年8月2日 9:00現在 暫定値)

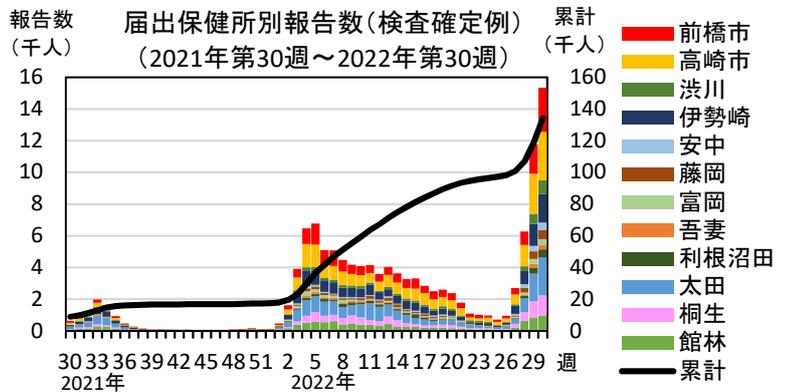
※群馬県のデータベースをもとに検査確定例のみ集計しています。HER-SYSデータを確認後、修正することがあります。

【2022年第30週 (～7月31日まで)】

2022年第30週の新型コロナウイルス感染症 (検査確定例) の報告は15,334例で、第29週 (11,767例) から増加しました。調査開始 (2020年) 以降の累計報告数は134,188例です。

【7月】

- ◆ 報告数は36,478名で、6月の報告数3,847名から大きく増加しました。届出保健所別では、高崎市が最も多く7,714名 (21%)、次いで前橋市5,954名 (16%)、太田5,459名 (15%)、伊勢崎4,656名 (13%) でした。



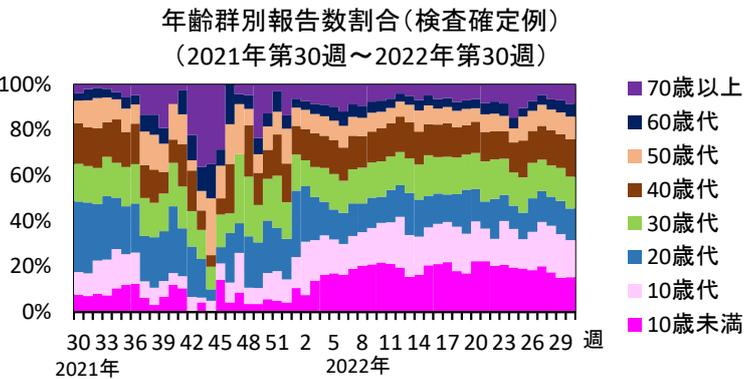
《参考：患者発生状況 (8月1日公表)》

県内患者発生数※ : 134,947名

死亡者数 : 344名

国内患者発生数 (感染者：厚労省発表)
12,749,822名

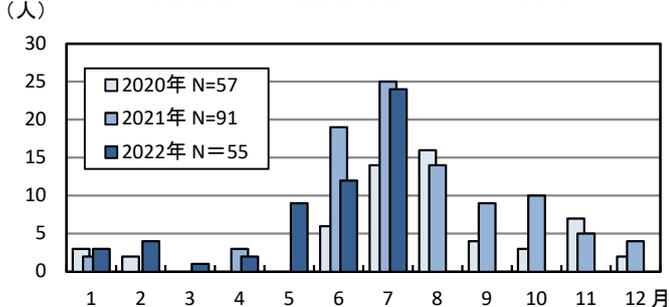
※令和4年1月24日厚労省通知による疑似症患者を含む



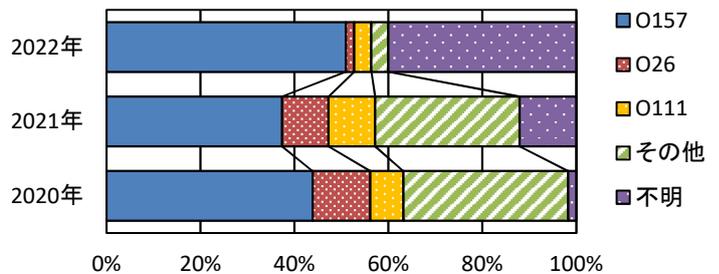
● 腸管出血性大腸菌感染症 (全数報告疾患)

- ◆ 本年は5月から報告が増加しています。
- ◆ 腹痛・下痢・血便等の症状がある患者に対しては、抗菌薬投与の前に便培養検査の実施をお願いします。
- ◆ 前橋市内の保育施設で複数発生事例が確認されました。(R4年7月27日 前橋市報道発表)

報告数 (人) 腸管出血性大腸菌感染症 (2022年7月まで)



O血清型別報告割合 (2022年7月まで)



※2022年は届出時の血清型不明の場合、その後の検査で判明する場合があります

*この情報に関するお問い合わせ先：群馬県感染制御センター (群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoc@pref.gunma.lg.jp

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム解析について (Vol.22)

新型コロナウイルスゲノム解析結果(2022年第29週(7月18日～24日)まで)

デルタ株が2021年第19週(5月10日～16日)に初めて検出され、第29週(7月19日～25日)以降、AY.29が流行となりました。県内では、第48週(11月29日～12月5日)以降、デルタ株の再流行がありましたが、オミクロン株が第50週(12月13日～19日)に初めて検出され、2022年第1週(1月3日～9日)以降、BA.1が主な流行となりました。

第2週(1月10日～16日)に渡航歴のある患者からBA.2も検出されましたが、その後の拡大はみられていませんでした。2022年第9週(2月28日～3月6日)以降、BA.2の検出が増加し、主な流行となりました。第25週(6月20日～26日)以降、新たにBA.5が検出され、その後割合が増加しています。引き続きゲノム解析による流行の把握が重要と思われます。

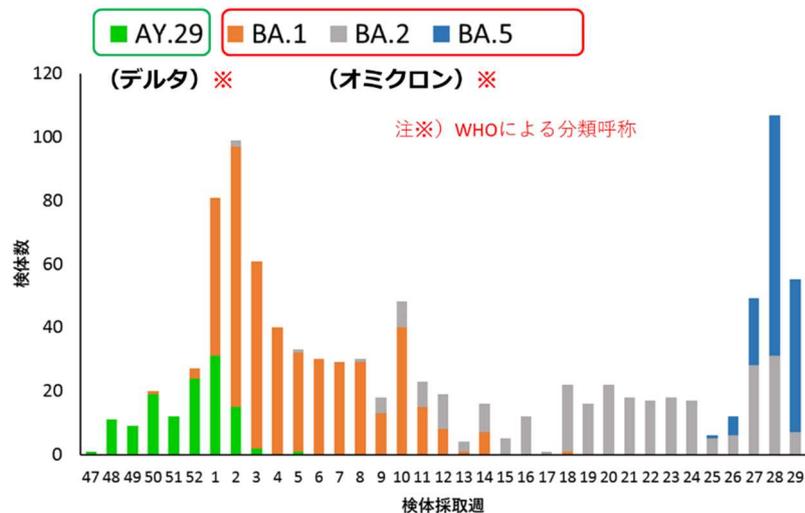


図1 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(検体数)【群馬県衛生環境研究所実施分】

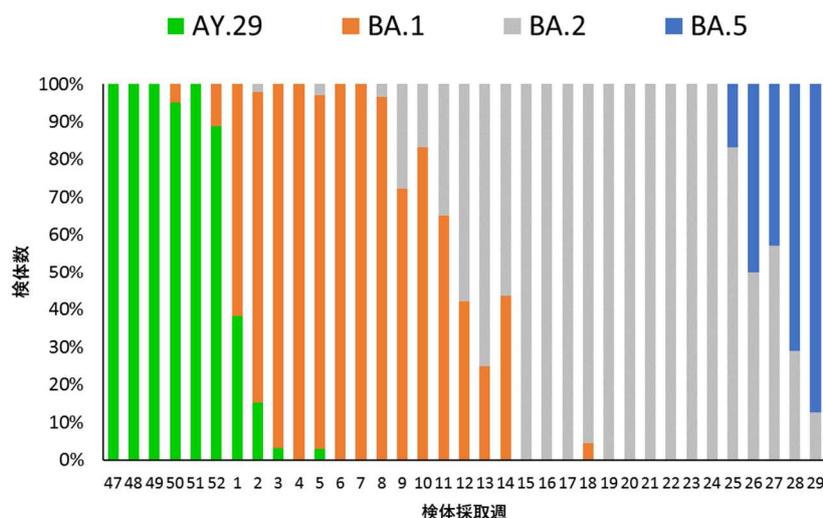


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(割合%)【群馬県衛生環境研究所実施分】